

平成 29 年度事業報告書

自 平成 29 年 4 月 1 日
至 平成 30 年 3 月 31 日

本事業年度における事業の概要は、次のとおりです。

1 配合飼料価格差補てん事業

《畜種別契約数量》

(単位：件、t)

畜種	平成 29 年度(当初)		平成 29 年度(最終)	
	加入者数	加入者数	加入者数	契約数量
乳牛用	120	21,740	119	21,878
肉牛用	608	251,087	604	251,689
豚用	223	527,501	222	531,802
採卵鶏用	40	213,539	40	213,539
肉用鶏用	27	512,597	27	512,597
うずら用等	2	144	1	140
合計	1,020	1,526,608	1,013	1,531,645

《契約解約等及び基金間移動の状況》

(単位：件、t)

期別等	事由	乳牛用		肉牛用		豚用		うずら用等		合計(増減)	
		件数	数量	件数	数量	件数	数量	件数	数量	件数	数量
第 2 四半期 以降	廃業	0	0	0	0	-1	-3	0	0	-1	-3
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0		
第 3 四半期 以降	廃業	-2	-32	-1	-20	0	0	0	0	-3	-52
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0		
第 4 四半期 以降	廃業	0	0	-2	-16	-2	-26	0	0	-5	-42
	その他	0	0	-1	※10	0	0	0	0		
基金間移動 (第 3 四半期以降)	転出	0	0	-1	-12	0	0	※41	-4	-2	-16
	転入	1	170	※2	650	※34	4,330	0	0		
合計(増減)		-1	138	-4	602	-1	4,301	-1	-4	-7	5,037

(※1) 既存契約者へ預託移行の為、数量の増減はなかった。

(※2) 2 件中 1 件は既存契約者かつ同荷受組合への転入のため、合計件数にはカウントしなかった。

(※3) 4 件中 2 件は既存契約者かつ同荷受組合への転入のため、合計件数にはカウントしなかった。

(※4) 家畜の種類はキジ。

《通常補てん積立金の徴収状況》

(単位：円)

期 別	契 約 数 量		積 立 金	
	当 初	変 更 後	単 価	徴 収 金 額
第 1 四 半 期	379,990	379,990	600	227,994,000
第 2 四 半 期	375,826	375,825	600	225,495,000
第 3 四 半 期	395,628	398,168	600	238,900,800
第 4 四 半 期	375,164	377,662	600	226,597,200
合 計	1,526,608	1,531,645		918,987,000

《飼料価格差補てん金の算定及び交付状況》

(単位：円)

期 別	平均輸入 原料価格	基準輸入 原料価格	差 額	補てん単価 (円/t)	補てん金 対象数量 (kg)	交付金額	備考
第1四半期	27,680	25,955	1,725	1,700	364,561,782	619,755,014	追加交付含む
第2四半期	26,840	26,427	413	400	350,608,890	140,243,545	追加交付含む
第3四半期	26,427	26,787	▲360	0	—	—	
第4四半期	26,677	27,078	▲401	0	—	—	

(注) 1. 補てん金の限度額は、当該四半期の平均輸入原料が直前1年間に係る基準輸入を上回る額である。

2. 補てん金額は、補てん金の限度額を50円単位で切り捨てた額で、250円未満は「0」である。

2 肉用牛肥育経営安定特別対策事業

《積立金等：平成29年度》

(単位：円/頭)

項 目	生産者 積立金	生産者積立助成金		生産者 負担金
		機 構	県	
肉 専 用 種	60,000	45,000	700	14,300
乳 用 種	88,000	66,000	460	21,540
交 雑 種	76,000	57,000	310	18,690

負担区分は、機構：3/4、県：定額、生産者：1/4以内

《個体登録頭数（平成29年4月1日～平成30年3月31日）》

	生産者 (戸)	個 体 登 録 頭 数 (頭)							生産者積立金等 (円)
		黒毛和種	褐毛和種	その他	乳用種	交雑種	一産取り	計	
協会	96	29,701	0	134	1,817	2,962	519	35,133	497,925,870
県	438	73,178	0	149	2,556	6,387	519	82,789	1,184,449,690
対県	21.9%	40.6%	—%	89.9%	71.1%	46.4%	100.0%	42.4%	42.0%

《補てん金の交付状況（平成29年4月1日～平成30年3月31日）》

月	肉専用種			乳用種			交雑種			合計	
	頭数	単価	金額	頭数	単価	金額	頭数	単価	金額	頭数	金額
4月	2,414	0	0	83	55,200	4,581,600	210	10,800	2,268,000	2,707	6,849,600
5月	2,026	0	0	76	39,900	3,032,400	230	48,300	11,109,000	2,332	14,141,400
6月	2,187	0	0	157	39,400	6,185,800	191	56,600	10,810,600	2,535	16,996,400
7月	2,421	0	0	169	39,900	6,743,100	224	64,400	14,425,600	2,814	21,168,700
8月	2,065	17,300	35,724,500	175	45,900	8,032,500	226	81,000	18,306,000	2,466	62,063,000
9月	2,223	6,700	14,894,100	176	39,200	6,899,200	204	73,500	14,994,000	2,603	36,787,300
10月	2,365	55,700	131,730,500	174	35,300	6,142,200	207	72,700	15,048,900	2,746	152,921,600
11月	2,828	4,800	13,574,400	234	23,500	5,499,000	267	60,000	16,020,000	3,329	35,093,400
12月	3,169	0	0	210	21,200	4,452,000	273	30,000	8,190,000	3,652	12,642,000
1月	1,776	0	0	135	29,000	3,915,000	204	50,100	10,220,400	2,115	14,135,400
2月	1,797	39,800	71,520,600	122	31,700	3,867,400	228	72,300	16,484,400	2,147	91,872,400
3月	2,060	27,000	55,620,000	77	28,500	2,194,500	228	84,600	19,288,800	2,365	77,103,300
合計	27,331		323,064,100	1,788		61,544,700	2,692		157,165,700	31,811	541,774,500

3 肉用子牛生産者補給金制度

《保証基準価格、積立金：平成29年度》

(単位：円/頭)

項目	保証基準 価格	合理化 目標価格	積立金			
			計	国	県	生産者
肉専(黒毛)	339,000	282,000	1,200	600	300	300
肉専(褐毛)	309,000	259,000	4,600	2,300	1,150	1,150
肉専(その他)	221,000	150,000	12,400	6,200	3,100	3,100
乳用種	136,000	93,000	6,400	3,200	1,600	1,600
交雑種	210,000	152,000	2,400	1,200	600	600

《個体登録頭数（平成29年1月1日～平成29年12月31日）》

	生産者 (戸)	個体登録頭数(頭)			
		肉専用種	乳用種	交雑種	計
協会	9	1,879	454	1,126	3,459
県	8,834	86,834	1,419	3,305	91,558
対県	0.1%	2.2%	32.0%	34.1%	3.8%

《肉用子牛生産者補給金の交付状況（平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日）》

期 別	肉専用種			乳用種			交雑種			合計	
	頭数	単価	金額	頭数	単価	金額	頭数	単価	金額	頭数	金額
	頭	円	円	頭	円	円	頭	円	円	頭	円
H29年1～3月	全品種発動なし										
〃 4～6月	全品種発動なし										
〃 7～9月	全品種発動なし										
〃 10～12月	全品種発動なし										
合 計											

4 その他の肉用牛関係補助事業

(1) 肉用牛繁殖経営支援事業

第 3 四半期（10 月～12 月）に保留されたその他肉専用種について、46,300 円／頭の支援交付金が交付された。

(2) 中核的担い手育成増頭推進事業

平成 29 年 12 月末の増頭実績で、増頭助成金が 2 戸に交付された。

5 畜産環境整備リース事業（1/2 補助付きリース、間接、直接）

平成 29 年度は 21 件中 7 件が償還を完了した。これにより、間接リースについては全て償還完了した。

6 畜産経営生産性向上支援リース事業（1/3 補助付きリース）

平成 29 年度は、借受者 3 件全てが償還を完了した。

7 堆肥保管施設整備リース事業（1/2 補助付きリース）

平成 29 年度末現在、11 件が借受中である。

8 畜産環境整備リース事業（経営リース）

平成 29 年度は、10 件中 1 件が償還を完了した。

9 畜産クラスター機械導入リース事業

平成 29 年 7 月に 1 件の貸付が実行された。

10 関係機関・団体等が行う事業への参画

関係機関・団体等が行う防疫対策や（一社）全日本畜産経営者協会等が行う振興対策などの事業に協力し、畜産経営の安定向上に努めた。